

薬学部のない島根県の病院における薬剤師確保と定着にむけて ～アンケート調査からの考察～

演題
118

発表者 野島 慶明 (島根県 隠岐広域連合立隠岐病院¹⁾)
共同研究者 谷口 栄作²⁾, 佐野 千晶²⁾, 吉岡 みち子²⁾, 中畑 典子²⁾,
直良 浩司³⁾ (島根大学医学部地域医療支援学講座²⁾, 島根大学医学
部付属病院³⁾)

薬学部のない島根県の病院における 薬剤師確保と定着にむけて ～アンケート調査からの考察～

隠岐広域連合立隠岐病院
島根県地域医療支援コーディネータ
野島慶明

島根大学医学部地域医療支援学講座
中畑典子・吉岡みち子・佐野千晶・谷口栄作
島根大学医学部付属病院薬剤部
直良浩司

よろしくお願いいたします。

はじめに

長寿社会や疾病構造の変化により人々の医療ニーズは高度かつ多様化している。そのなか島根の地域医療にとって医師をはじめとする医療専門職人材の確保は喫緊の最重要課題となっている。

地域包括ケアにおいて薬剤師の担う役割も増しているが薬学部のない島根県内には薬剤師確保の困難な病院も存在する。

しかし地域内での薬剤師連携の動きもみられるも薬剤師確保や確保にむけた取り組みの情報は少ない。

はじめに

長寿社会や疾病構造の変化により人々の医療ニーズは高度かつ多様化しています。そのなか島根の地域医療にとって医師をはじめとする医療専門職人材の確保は喫緊の課題となっています。しかし地域内での薬剤師連携の動きもみられますが薬剤師確保や確保にむけた取り組みの情報は少ないです。

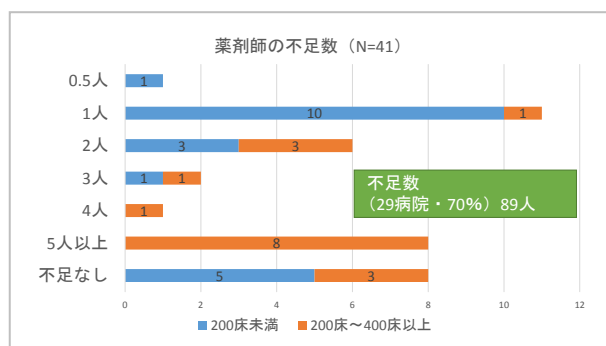
目的

薬学部のない島根県内の病院薬剤師の確保状況や確保にむけた取り組み等の現状を明らかにし薬剤師確保について検討することを目的とする。

- ・対象：島根県内にある全病院53施設
- ・方法：無記名自記式調査票を郵送で配布
- ・調査期間：平成28年8月下旬～9月15日回収
- ・解析対象：返信のあった41病院（77%）

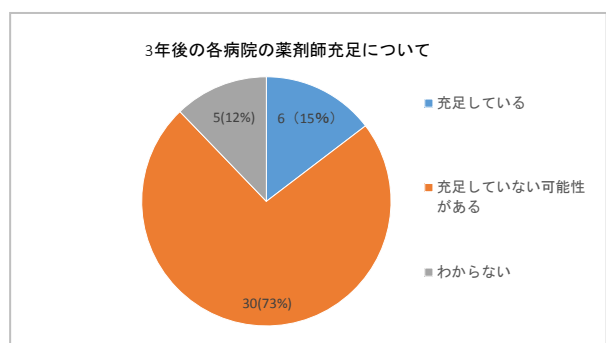
目的です。

薬学部のない島根県の病院の薬剤師確保状況や確保にむけた取り組み等の現状を明らかにし薬剤師確保について検討することを目的としました。対象は、島根県内にある全病院 53 施設。方法は、無記名自記式調査票を郵送で配布しました。調査期間は、平成28年8月下旬～9月15日回収。解析対象は、返信のあった41病院（77%）です。



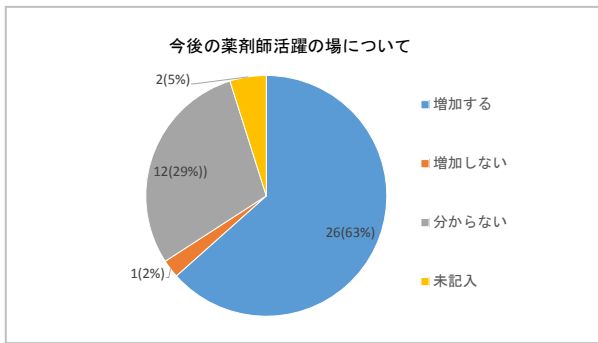
薬剤師の不足数です。

29 病院（70%）が不足と回答し、不足数合計は 89 人でした。

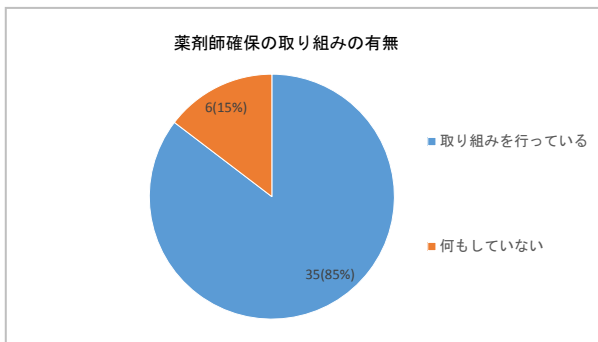


3 年後の各病院の薬剤師充足についてです。

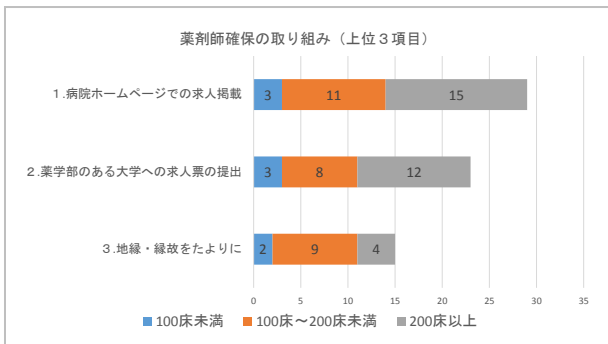
6 病院（15%）が充足していると回答し、充足していない可能性があるとは 30 病院（73%）でした。



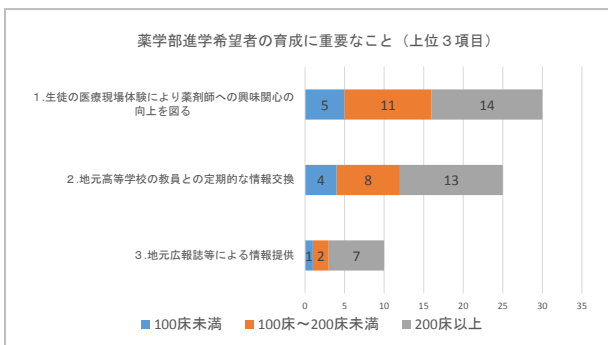
今後の薬剤師活躍の場についてです。増加すると回答したのは26病院（63%）でした。



薬剤師確保の取り組みの有無です。取り組みを行なっているのは35病院（85%）でした。

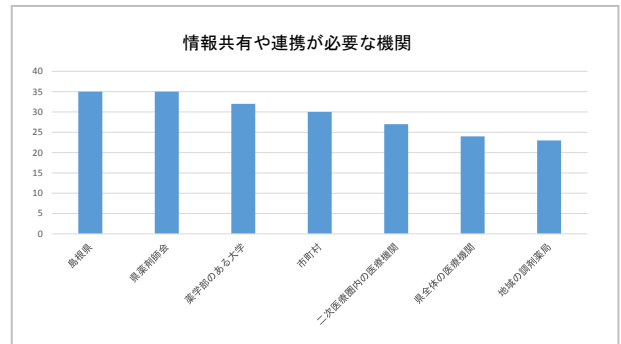


薬剤師確保の取り組みの上位3項目です。1位は病院ホームページでの求人掲載、次に薬学部のある大学への求人票の提出、3位は地縁・血縁をたよりにでした。



薬学部進学希望者の育成に重要なことの上位3項目です。

1位は生徒の医療現場体験により薬剤師への興味関心の向上を図る。次に地元高等学校の教員との定期的な情報交換、3位は地元広報誌による情報提供でした。



情報共有や連携が必要な機関です。

1位は同数で島根県と薬剤師会で2位は薬剤部のある大学でした。

考察

- ・29病院（70%）が89人の薬剤師が不足と回答。
- ・30病院（73%）が3年後の薬剤師確保が困難と回答し35病院（85%）が薬剤師確保に取り組んでいた。

これには薬剤師活躍の場や役割の拡大、生徒へむけた薬剤師の魅力等の情報発信不足、薬学部で薬剤師を目指す県内出身者へのふるさとの情報不足があると考えられた。

超高齢化・人口減の島根において、生徒への育てる視点の働きかけや、既存の医療機関等の薬剤師のつながりを生かす取り組み、ふるさとに薬剤師を招く積極的な取り組みの必要があると考えられた。

考察です。

29病院（70%）が現状より89人の薬剤師が不足と回答していました。また30病院（73%）が3年後の薬剤師確保が困難と回答し35病院（85%）が薬剤師確保に取り組んでいました。

これには薬剤師活躍の場や役割の拡大、生徒へむけた薬剤師の魅力等の情報発信不足、薬学部で薬剤師を目指す県内出身者へのふるさとの情報不足があると考えます。

超高齢化・人口減の島根において、生徒への育てる視点の働きかけや既存の医療機関等の薬剤師のつながりを生かす取り組み、ふるさとに薬剤師を招く積極的な取り組みの必要があると考えます。

おわりに

調剤業務のほか地域包括ケアなど薬剤師ニーズは高まっている。

今回の調査研究の明らかとなった知見から島根の医療を支える薬剤師の確保・定着にむけてさらに詳しい調査をおこないたい。

へき地・離島を抱える島根県の地域医療推進にむけ現場の声を大切にし地域医療支援コーディネータとして引き続き活動していきたい。

おわりに

調剤業務のほか地域包括ケアなど薬剤師ニーズは高まっています。

今回の調査研究の明らかとなった知見から島根の医療を支える薬剤師の確保・定着にむけてさらに詳しい調査をおこないと考えます。

へき地・離島を抱える島根県の地域医療推進にむけ現場と対話しながら地域医療支援コーディネータとして引き続き活動していきたいと考えます。広く皆様からのご意見をお待ちしております。よろしく願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。